

ぶせてもらう児童



勝山市平泉寺町赤尾の  
住民たちが23日、手作り  
の防災ずきん45枚を平泉

寺ト児童と教職員に贈り  
られた。日間かけ新調した。教室  
の椅子の背もたれに掛け  
られるようサイズやゴム  
の立替えを工夫した。

ナルの  
加者=日本  
の上

## 温か防災ずきん 児童へ

勝山・平泉寺小地元女性贈る

「早く明日の避難訓練に  
使います」と感謝の言葉  
を述べた。(宮本幸直)

## 28日 えち鉄が散策ツアーワーク

508。

旧金津出身で27歳の  
若さで亡くなった詩人館  
高重(1904~31年)  
の詩の朗読会(福井新聞  
社後援)が21日、あわら  
市中央公民館で開かれ  
た。両親や妻を亡くし、  
病と闘いながら書き上げ  
た詩は、はかない命や家  
族への愛などがこもった  
作品ばかり。訪れた約1  
70人が耳を傾けた。  
生まれた翌年に母、18

さへなくとも、あわら市は、  
市外へ出て、自分の才能を  
発揮する場所を求めていた。  
しかし、その才能を認められ  
たのは、死後のことだった。  
高重の死後、あわら市は、  
彼の才能を認め、彼の詩を  
残すため、市内に記念館を  
建設した。この記念館では、  
毎年、詩の朗読会が開催さ  
れており、多くの人に愛され  
ている。

披露された詩は、妻・

三雄さん(福井市)、故

広部英一さん(同)が館

の作品をどう評価してい

たかを解説。いつも長髪

のかつたなどといった生前

の姿も紹介した。本田敏

美さん(58)=坂井市三国

はかない命や家族への愛がつづられた館高重の  
詩の朗読会=21日、あわら市中央公民館

## 館高重の世界 浸る あわらで朗読会170人集う

旧金津出身 早世の詩人

# 奥越坂井



坂井市春江小6年 宮本 紗良さん

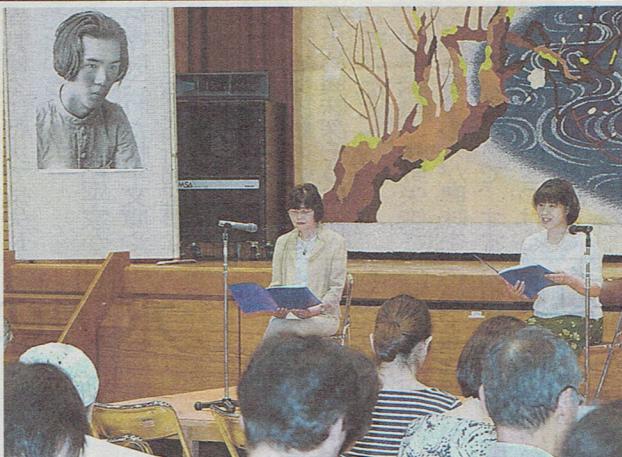
私は料理人になって、いろいろな人に料理を振る舞いたいです。5年生から料理が好きになり、毎日夜ごはんのメニューを考えたり作ったりしています。上手になって評判の良い料理人になりたいです。

児童の健全育成 功労12人を表彰

坂井、県連絡協議会

県児童館連絡協議会の  
総会が23日、坂井市の県  
児童科学館で開かれた。

児童の健全育成に長年努めてきた功績  
が手渡され、表彰され



## 勝山満喫を

駅に戻り、午後つ  
の電車に乗車すべ  
く、帰途に勝山温泉  
水芭蕉に立ち寄  
駅を午後3時49分  
に到着した。

えちぜん鉄道は28日、電  
車とバスで勝山市北谷町  
小原地区に行き、山菜採り  
などを楽しむ散策ツアーツ  
を行なう。参加者を募集して  
いる。

福井駅午前8時28分発の  
電車に乗り、勝山駅に同9  
時31分に到着した後、バス  
に乗り換えて小原地区に向か  
う。

現地では林道散策のほ  
か、ウド、フキなどの山菜  
採りをする。昼食には山菜  
料理やイワナの塩焼きを堪  
能してもらおう。帰りは勝山

駅に戻り、午後つ  
の電車に乗車すべ  
く、帰途に勝山温泉  
水芭蕉に立ち寄  
駅を午後3時49分  
に到着した。

定員は小学生1人、  
参加費は大人300円(子供230円)、  
車運賃は別途必要。

駅に戻り、午後つ  
の電車に乗車すべ  
く、帰途に勝山温泉  
水芭蕉に立ち寄  
駅を午後3時49分  
に到着した。

駅に戻り、午後つ  
の電車に乗車すべ  
く、帰途に勝山温泉  
水芭蕉に立ち寄  
駅を午後3時49分  
に到着した。

パパ宛てはがき



坂井一筆啓上の館